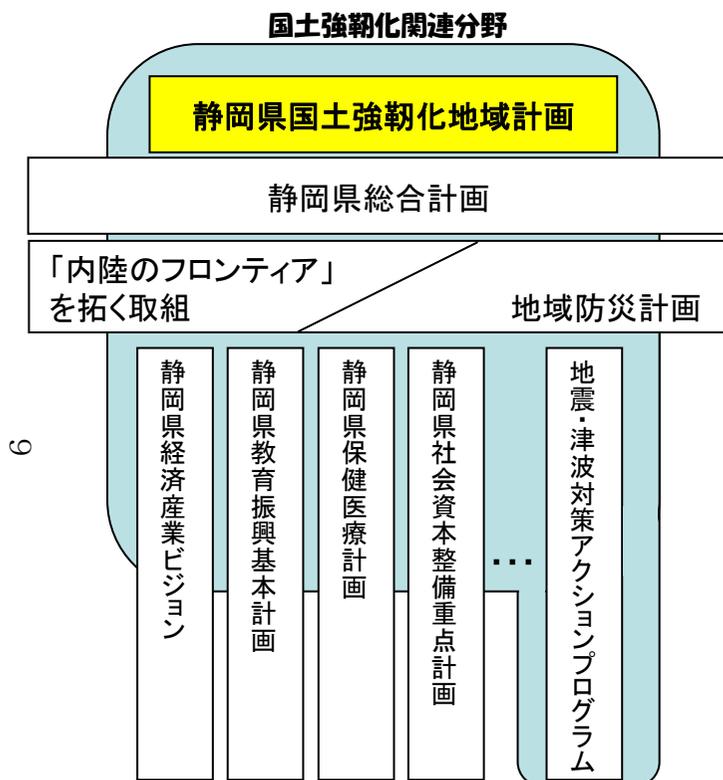


# 国土強靱化地域計画とは

どんな自然災害等が起こっても機能不全に陥らず、いつまでも元気であり続ける「強靱な地域」をつくりあげるための計画

参考資料 3



## <地域計画の性格>

国土強靱化地域計画は、国土強靱化の観点から、県における様々な分野の計画等の指針となるものであり、いわゆる「アンブレラ計画」としての性格を有する。

## 地域計画策定に向けた基本的な進め方

### STEP1 地域を強靱化する上での目標の明確化

#### <基本目標>

- ・人命の保護が最大限図られる
- ・地域社会の重要な機能の維持
- ・県民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- ・迅速な復旧復興

### STEP2 リスクシナリオ(最悪の事態)、施策分野の設定

- (例)・広域にわたる大規模津波等による多数の死者の発生
- ・多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生
  - ・社会経済活動の維持に必要なエネルギー供給の停止 など

### STEP3 脆弱性の分析・評価、課題の検討

- (例)・住宅の耐震化率 79.3%
- ・重要路線等にある橋梁の耐震化率 40%
  - ・工業用水道・水道の基幹施設の耐震化率 45.1% など

### STEP4 リスクへの対応方策の検討

- (例)・「静岡モデル」による津波対策の推進
- ・富士山静岡空港の大規模な広域防災拠点としての活用
  - ・沿岸・都市部の再生、内陸・高台部の革新、多層的な地域連携軸の形成による災害に強い地域づくり など

### STEP5 対応方策についての重点化、優先順位付け